

# 故郷（ふるさと）野付の自然 3 1

## 小豆色の粹な小鳥・ハギマシコ（萩益子）



野付半島では、定番の冬に見られる小鳥です。秋から春まで結構長く野付半島や尾岱沼で毎年見る事ができますが、道東以外では意外に少なく、特に世界的には東アジアの北部にしかいないので、北海道にやってくる外国人の鳥好きには、とても人気がある鳥です。

見た目は、スズメより少し大きくずんぐりとしていて黒い鳥の様に見えますが双眼鏡や望遠鏡で観察するととても綺麗な色合いです。見る人によっていろいろな感じ方で表現されていますが、英語では Asian rosy finch ですから、バラ色の小鳥となりますね。日本語は萩益子なので、秋に咲く紫色のハギの花のイメージなのかもしれませんね。

個人的にはハギマシコのお腹の色は、小豆色（あずきいろ）に見えてしまいます。ふっくらしてるので美味しそうな「おはぎ」を連想します。